

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州の伝統野菜「ていざなす」苗作りセンターつくるぞ~!!!
事業主体 (連絡先)	天龍村ていざなす生産者組合
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	1,612,941 円

#### 事業内容

連作障害や病気に強い接木苗を作る育苗施設が老朽化している  
ので、新たに設置して、今まで以上に安定した接木苗を量産でき  
る体制を図るとともに、ていざなすの普及・拡大の取組活動を行  
い需要と供給の量を増やし、組合員の増加を目指す。

- 1 育苗施設(パイプハウス)の整備  
162㎡(幅5.4m\*長さ30m)×2棟 面積計324㎡
- 2 ていざなす普及・拡大の取組み
  - ・栽培講習会(7月10日)、収穫体験会(10月27日)
  - ・新規組合員の勧誘と栽培指導
  - ・天龍村ふるさと夏まつりでの活動(8月15日)
  - ・天龍保育所や天龍小学校への食材提供
  - ・福島県伊達市「だてな太鼓まつり」参加(8月17日~20日)



【 育苗施設設置 】

#### 【目標・ねらい】

- ①接木苗の安定量産
- ②ていざなすの普及・拡大
- ③ていざなすの販路拡大

#### 事業効果

- ①育苗生産量の増  
育苗施設のパイプハウスを設置することにより、育苗  
面積が増えて、接木苗の育苗本数を増やすことが可能と  
なった。
- ②ていざなす普及・拡大の取組み  
村内の保育所、学校の給食でていざなすを使うこと  
により子供たちがていざなすに興味を持ってくれるよう  
になった。その他にも収穫体験、村の夏まつりへの参加等  
により組合の取組み活動がPRできた。  
また、販路拡大として、商談等の活動をしてきた結果、  
今年度から豊洲の仲卸業者との取引が増えた。

#### ※自己評価【B】

**【理由】**  
ていざなすの接木苗を安定的に量産  
できる体制ができた。また、少しづ  
つではあるものの、普及・拡大の取  
組により、新たな販路ができつつあ  
る。

#### 今後の取組み

本事業で設置した育苗施設のパイプハウスを有効利用して、ていざなす接木苗の量産を図ると  
ともに、苗栽培のシーズン以外は竹パウダー作りに使用して、ていざなす栽培の土づくりに使用  
していく。  
また、ていざなす組合の取組として、引き続き普及・拡大の取組を行い販路を広げるとともに、  
生産者の増員、栽培面積の拡大をして、地域の活性化を図る。